

平成28年度第5回江南市地域公共交通会議 会議録

- 日時 平成29年3月22日(水) 午後2時～午後2時40分
- 場所 市役所 3階 第2委員会室
- 委員 出席委員11名(磯部 友彦、桑原 良隆(代理:主任主査 石屋 義道)、古田 寛、近藤 博之(代理:事務サブリーダー 平塚 康男)、古橋 靖弘、向原 宏、山田 敏也、坪内 三、倉橋 義一、佐藤 和弥、武田 篤司)
欠席委員7名(平野 富一、森 一浩、河村 富貴、長屋 涼、脇田 和美、村瀬 徳行、原 朋子)
オブザーバー2名(水野 泰(代理:中畠 英昭)、鶴飼 嗣孝(代理:岩崎 義宏))
- 傍聴者数 7人
- 資料 1:江南市地域公共交通基礎調査報告書
資料2-1:公共交通に関する平成29年度以降の検討体制について
資料2-2:地域公共交通検討 工程案
資料2-3:江南市地域公共交通会議設置要綱(案)
資料2-4:江南市地域公共交通会議部会設置要領(案)
参考資料:江南市高齢者福祉実態調査結果(速報値)について

午後2時00分 開会

○会長あいさつ

会 長 皆様こんにちは。3月の年度末でお忙しいところ、お集まり頂きましてありがとうございます。地域交通の最近の話題は、認知症ドライバーの話題が挙げられますが、もし自動車を運転しなくなったらどうするか、地域で公共交通があるか無いかで全然違う話でありまして、受け皿という形なのですが、これもつい最近わかった話ではないのです。昔からそういったことのために地域公共交通を充実させているものでありますし、必ずしも運転免許を返納した人だけの公共交通でもありませんので、地域全体での話は大事だと思います。

この問題は、悪者がいない問題でありまして、ふつう社会問題があると、悪者がいてそれをやっつけようという話になるのですが、公共交通の問題は悪者がいないんですね。だけど問題だという事でありますから、解決方法はたいへん難しいわけなんです。

地域交通の受け皿があるからOKになるのか、ひょっとして自動運転ができるから問題解決できるのかといえばなかなかそうでもない。そういった話がありますので、じっくり地域ごとに考えて、何か良い解決策を考えていくしかないのではと思います。

逆に、地域交通の重要性が言われてきているので、そういう意味では今使っていない人にとっても大事な地域交通だというPRをする時期かもしれないと思っています。それをうまく皆さんの方でも判断していただいて、地域交通の推進や奨励に励んでもらいたいなと思っております。よろしく願いいたします。

○報告事項

江南市地域公共交通基礎調査結果報告書について（資料1）

会 長 報告事項より先に進めたいと思います。江南市地域公共交通基礎調査結果報告書について事務局より説明をお願いします。

事務局 資料1に基づき説明。

会 長 ありがとうございます。ただ今、報告という形で事務局より江南市地域公共交通基礎調査結果報告書についてご説明がありました。委員の皆様から今の説明およびこの冊子全体について何かご質問ご意見等ありましたらお受けいたします。

よろしいでしょうか。前回、概要を説明させていただきましたし、これを基に次のステップへ行くための基礎調査ということでございます。

よろしければ次の議事に移ります。

○協議事項

今後の検討体制及びスケジュールについて（資料2-1～資料2-4）

会 長 続きまして協議事項になりますが、今後の検討体制及びスケジュールについて事務局より説明をお願いします。

事務局 資料2-1～資料2-4に基づいて説明。

会 長 ありがとうございます。今後と言いますと、次年度の平成29年度だけでなく平成32年度までを見通した考えを事務局は持ってみえて、それに従って準備をしていくために組織も若干変えてやっていくというところですか。

これについて、何かご質問、ご意見ありましたらお受けしますが。いかがでしょうか。

委 員 少し前後しますが、先ほど会長からもお話がありましたように、最近テレビや新聞等で報道されていますが、今年の3月から、運転免許証の更新時に75歳以上の方は認知症の検査が追加されまして、認知症と診断されたら運転免許は更新できなくなる。また、高齢者のアクセルとブレーキの間違えや高速道路の逆走などの問題で事故が全国的に多発しているのはご存じのとおりであります。

そうした人に対して各自治体や警察では運転免許証の返納を推進しているわけですが、そういった人は、運転免許証が無くなったら車が運転できなくなる。その代わりとして公共交通が見直されてくると思います。そういう人のために1人でも多くの人々の足を確保するためには今後どうしたら良いか重要な課題が残って、江南市の公共交通はこのままで良いのか、それとも何か良い方法で見直していかなければならないのか。そういった問題が出てくると思います。

これにつきまして、江南市でも高齢化が進んできていると思います。昨日もある人から、江南市の100歳以上の人数は102人か103人いるという話を聞きました。

現在、江南市で75歳以上の人口に対して運転免許証の保持者は何%くらいなのか、直近の資料で示されているのかわかりませんが、そういった人がこれからますます増えていくことが予想されます。1人でも多くの人々の足を確保するためにも、我々は良い方法を検討していかなければならないと思います。

私も、もうすぐそういった年齢に達しますので、他人ごとではないと日々考えております。アンケートの結果を見ましても、公共交通やいこまいCARを知らないという人が半分以上、だいぶ高い比率でいるようです。これには私も少しびっくりしました。

これは、広告、宣伝の仕方が悪いのか、関心事がないのかわかりませんが、そういった人がいる状況が腑に落ちません。アンケートを見ると4人に3人が運転免許証を持っている。この中で75歳以上人がどのくらいいるのかわかりませんが、アンケートでは遠くて公共交通を利用しないと回答している人もいます。そういう人が、1人でも多く公共交通を利用するような方向で、我々も勉強したり、検討したりしなければいけないと思っています。

会 長 ありがとうございます。今の倉橋委員の主張は2つあると思います。1つは、新しい体制での目玉、今までもやってきたことだけど、特に強調した

いところがあるのではないかと、この1つは高齢者への方法論ですね。いこまいCARもありますし、福祉タクシーの話もありますから、その辺りのところが1つの課題として検討していくのではないかと思います。そこを少しご説明いただいて、もう1つは、いこまいCARの認知度を上げるためにはどうしたら良いのかという話ですね。どういった方へ特に使って欲しいというのがあると思います。どういった方にどう使ってほしいかという宣伝、周知が課題だと思しますので、新しい体制における1つの目玉があると思います。それを強調して事業を進めていただければと思いますが、いかがでしょうか。

事務局 最初に高齢者への対応については、参考資料がございまして、こちら65歳以上の方になりますが、後ほど簡単にご案内したいと思います。5ページを見ると、いこまいCARを使ったことがある方はこの時点で15.3%ということで、高齢者の方は一般的に均した場合よりいこまいCARのことを多少認知はしているということと、いこまいCARの免許返納者への対応という事だと、1割減額したうえでの半額という事になるので、一般の方よりもさらに安く使えるという実情も既にございます。そういったところのPRも含めて、来年度以降の検討部会や、再編委員会の中になるとと思いますが、しっかり検討していく必要があると考えております。

会長 今までもやってきたことでしょうが、福祉部局と市民サービス課で行政的にいうところの縦割りで福祉タクシーといこまいCARの事業をやっているんですね。

委員 車はタクシーを使っているのと同じなんですね。どうやってそれらをうまく整合性をとってやっていくのか、市の内部でも課題になっているようですから、まさにその辺りをきちっとやっていくということだと思います。先ほどの私の質問の中で、75歳以上の方は江南市で何名いるのかわかりませんか。今すぐは難しいのであれば、何かの時に出していただいて、75歳以上で運転免許証の保持者について直近の数字が出ていたら教えて頂きたいです。

やはり、高齢者が出かけるのに不便だと、新聞やテレビ、各自治体でも言っていますが、1人でも多くの足を確保できたらと思っておりますのでよろしく願います。

事務局 免許の保有者数は、江南警察で所管する免許になりますので、一度問い合わせをしてみまして、分かるようであれば、江南市全体の人口は分かっておりますので、警察の方で数字を出していただければお示しできると思いますので、しばらくお時間をいただきたいと思っております。よろしく願います。

会長 その件、よろしく願います。他はいかがでしょう。検討部会というものをつくって、色々と検討していくということですが、こういうことも検討して欲しいというご要望がありましたら、そういったご発言でも構いませんが、いかがでしょうか。今までやってこなかったことを新たに考えるという事も検討でしょうし、今まであったシステムを見直すというのも検討でしょうし、色々と検討は内容が深いと思しますので、

委員の皆様から何かご発言があればと思います。いかがでしょうか。

会 長 ご意見も無いと思いますので、今日の会議としては、新たな体制として設置要綱を修正して部会を設置する話と、特に平成 29 年度が一番大事なんでしょうけれど、これから概ね4年間の見通しがこのようになっているという事で進めていく。もう1つは、市の内部に公共交通再編委員会をつかって取り組んでいくといったことを合わせての案件になりますが、これについて承認をしていきたいと思います。
今後の検討体制及びスケジュールについて、承認することにご異議ありませんでしょうか。

<異議なし>

会 長 ありがとうございます。それでは今後の検討体制及びスケジュールについて承認いただいたものと決定いたします。

○その他

会 長 以上で予定しておりました内容は全て終了いたしました。事務局から何か連絡事項はありますか。

事務局 連絡事項といたしまして、先ほども少しご紹介させていただきましたが、お手元に参考資料としまして「江南市高齢者福祉実態調査結果（速報値）について」を渡ししております。これは第7期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画策定のため、江南市高齢者生きがい課にて今年度アンケート調査を行った際、交通に関するアンケートも含め調査をいたしました。その内容を抜粋し、取りまとめたものとなりますので、本日参考に添付させていただきました。

また、本日の会議におきまして、今後の検討体制及びスケジュールについて、ただ今ご承認いただきましたので、来年度はお示ししました通り進めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

本日は、今年度最後の地域公共交通会議となります。今年1年間、磯部会長始め委員の皆様方にご協議いただきまして誠にありがとうございました。皆様方にご協議いただきました結果を持ちまして来年度以降、公共交通会議を始め検討部会などで更にご協力を賜りたいと存じますので、来年度以降もよろしく願いいたします。以上でございます。ありがとうございました。

会 長 ありがとうございます。それでは、せっかくの機会ですので、何か交通体系に関して、又は交通会議に関して何かご意見、ご要望がございましたら、ご発言をお願いしたいと思いますけれども。委員の皆様いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

会 長 特に無いようですので、これをもちまして、本日の江南市地域公共交通会議を閉会させていただきます。慎重なご審議を賜り、誠にありがとうございました。

午後2時40分 閉会